

4/11日 さくら色の御用水跡街園と酒蔵見学

距離 約5.6km 所要時間 約90分



※13時30分までにゴールしてください。



スタート
黒川駅
駅長室
☎052-911-0739

ゴール
ナゴヤドーム前
矢田駅

御用水跡街園

「御用水」は、寛文三(1663)年、庄内川の水を名古屋城のお堀に引き入れるために作られた。その後埋め立てられ、猿投橋～夫婦橋まで続く、約1.6キロの散策路として整備された。春は桜の名所となるほか、野鳥も訪れる憩いの場所として人々に親しまれている。

スタート!
地下鉄 黒川駅
1番出入口から
地上に上がりましょう!

スタート! (黒川駅1番出入口) → 御用水跡街園 → 黒川樋門 → 上飯田六所宮 → 金虎酒造 → 山田天満宮 → ゴール!! (ナゴヤドーム前矢田駅2番出入口より地下へ)

11参加の皆様へ

- ◆コースをむやみにはずれないようにしましょう。
- ◆ゴールでスタンプを押し、参加賞を受取りましょう。
- ◆速さを競うものではありません。各自のペースで楽しく歩きましょう。
- ◆交通ルールを守り安全に歩きましょう。
- ◆歩道を横に広がって歩かないようにしましょう。
- ◆住宅街の中を歩く時は、静かに歩きましょう。
- ◆ゴミは必ず各自で持ち帰りましょう。
- ◆歩きながらの喫煙など、他人の迷惑になる行為を避け、マナーを守りましょう。
- ◆自然や動植物、歴史的建造物を大切にしましょう。
- ◆イベント参加中の事故については責任を負いかねますのでご了承ください。

ひとくちメモ

黒川の名前の由来

「黒川」の名は、開削した黒川治憲(はるよし)氏にちなみ名づけられたものです。同氏は明治時代、中部地方の数多くの河川工事に関わった人物です。御用水は江戸時代からあったものの途中までしか船が行き来できませんでした。明治9(1876)年、同氏が御用水とほぼ平行に走る黒川を作ったことで犬山まで船が通行可能になり、名古屋の産業は大いに発展したといわれています。

←公衆トイレ
清潔に利用しましょう。
印は大まかな位置を示しています。
地下鉄駅構内にもトイレがあります。
ご利用ください。

駅ちかウォーキング
2010 SPRING



駅ちかウォーキングには、ミズノ株式会社が協賛しています。



プレゼント番号

プレゼント番号(下1ケタ)が、ゴール会場で発表する当選番号と一致した方に、

・雀おどり總本店 様 ほかより
提供の記念品をプレゼント!

※記念品の種類は選べません。

金虎酒造

名古屋市内に残る、数少ない造り酒屋。特典
吟醸酒「本丸御殿」などを製造。



酒蔵の見学・試飲
9:30~12:30
※試飲は満20歳以上に限る

ゴール!

地下鉄
ナゴヤドーム前矢田駅
2番出入口から
地下に下りましょう。

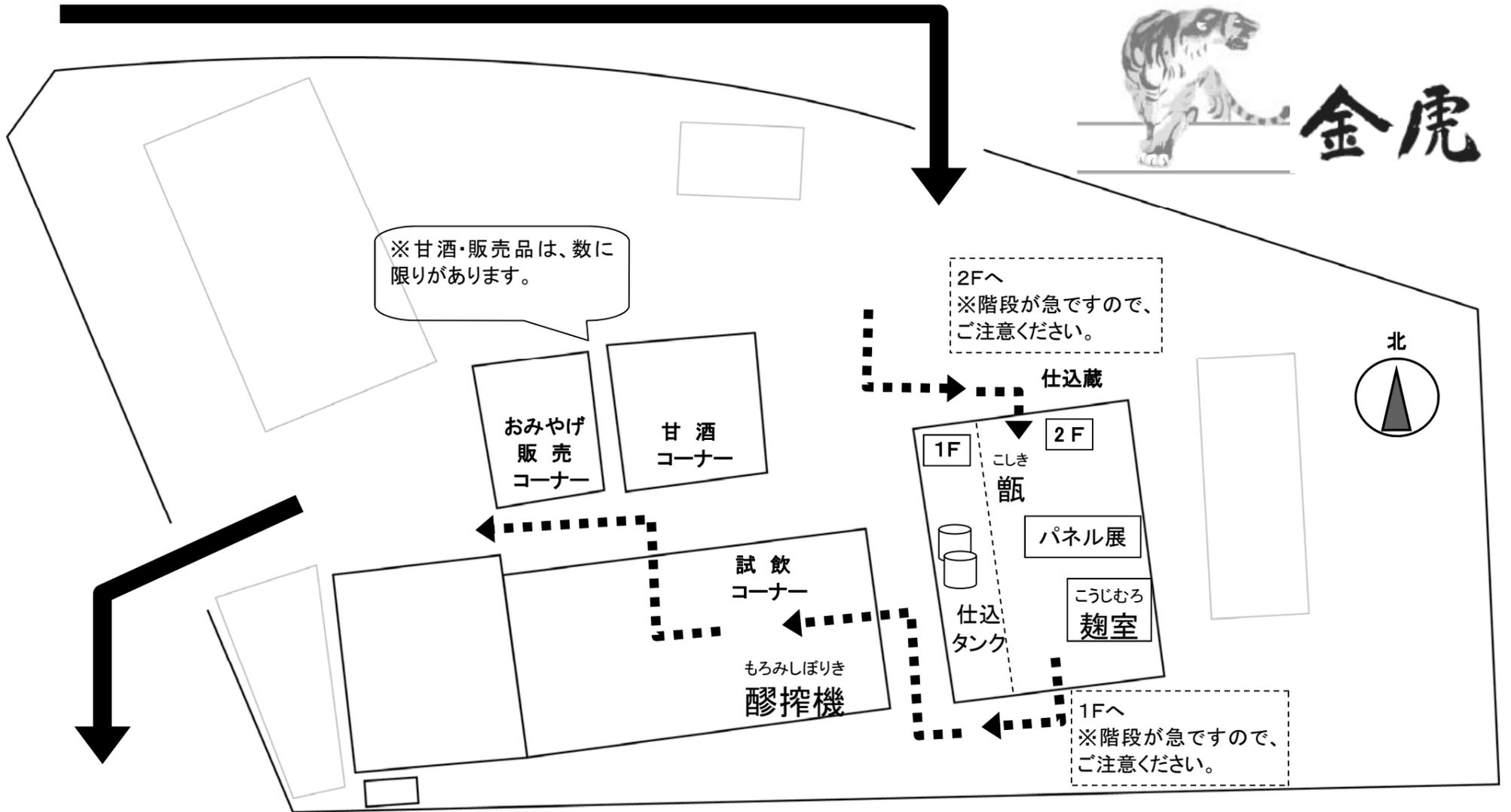
ナゴヤドーム
中日ドラゴンズの本拠地。野球の試合のほか、コンサートなどにも利用されている。



ナゴヤドーム

金虎酒造 見学案内図

名古屋市内に残る数少ない酒蔵を見学することができます。
係員の誘導に従い、見学しましょう。試飲は、満20歳以上の方に限ります。



これからの 駅ちかウォーキング は...

今回は、**4/24 (土) 開催!**

「春風あたたか堀川と中区の寺社めぐり」

国際センター駅をスタートし、「堀川」沿いの遊歩道を歩き、中区の寺社を巡ります。

名古屋駅の高層ビル街を間近に臨みながら堀川沿いを歩き、スタート後、最初に訪れる二福神車保存庫には、名古屋市の指定有形民俗文化財である二福神車(山車)が保存されています。普段は、10月に行われる花車神明社例大祭などでしか見ることができませんが、当日は駅ちかウォーキングの参加者向けに、特別に保存庫の扉を開け公開していただきます(雨天時は公開中止となります)。

さらに堀川沿いを進むと、納屋橋の北東の堀川端に、旧加藤商会ビルが現れます。昭和6年ごろに建てられた旧加藤商会ビルは、大正から昭和初期の近代建築の様式をよく残し、国の登録有形文化財に登録されており、堀川再生のシンボルとして活用されています。



整備された堀川沿いの遊歩道

その後、平成23年3月の理工館・天文館の完成を目指して現在改築工事中の名古屋市科学館や、美術館を経て、大須観音へ。ここからは七寺、日置神社、東別院といくつもの寺社を巡りながら、ゴールの金山駅に向かいます。

次々回は、**5/9 (日) 開催!**

「郷土の英傑ゆかりの地と名古屋競輪場見学」

中村公園駅をスタートし、郷土の英傑ゆかりの寺社や名古屋競輪場などを巡ります。

スタートするとすぐに目に入るのが、豊国神社の大鳥居。大鳥居をくぐって、豊国神社へ続く参道では当日九の市が行われており、様々なお店が出て、賑わいを見せています。続いて、加藤清正が建立した妙行寺、境内に豊臣秀吉の産湯を汲んだと言われている井戸がある常泉寺など郷土の英傑ゆかりの寺社を巡ります。コース中盤に登場する凌雲寺には、幼少の織田信長が習字の草紙を松の枝に掛けて遊んだといわれる「信長草紙掛け松」があります。美しい枯山水の石庭もぜひ見ていただきたいポイントです。

名古屋競輪場では、当日観覧席にて選手の練習風景を見学できます(雨天時は中止します)。終盤で訪れる稲葉地公園には、かつての配水塔であり現在は演劇の練習場として活用されているアクテノンがあり、そのギリシャ宮殿のような外観は、寺社を巡った後では新鮮に感じられることでしょう。新旧ガラスアートが楽しめる大1美術館には特別料金で入館いただけます。



稲葉地公園のアクテノン

最後に訪れる五反城教会では、駅ちかウォーキング参加者の方に向けて、特別にパイプオルガンの演奏をしていただきます。また、当日はコースのどこかに「おもてなし武将隊」より加藤清正が登場します。お楽しみに。